

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」岡山高島校		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 21日		2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2024年 10月 21日		2024年 11月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	質の高い支援	支援プログラムの意見交換 内部・外部研修への積極的な参加 各職員の強みを生かしたきめ細やかな支援の意識	必ず参加する研修だけでなく、自由参加型の内部研修や地域の外部研修にも意識的に参加する
2	職員全員で全ての利用者様をサポートする意識	指導員同士の積極的な意見交換 フィードバック中の利用者様の様子の観察 など イベントなどに実施により、より多角的な視点で考えることができる	担当する指導員が一人に固定化しないための取り組みとして、支援の見学、支援の交代などを引き続き進めていく
3	指導員同士の連携	指導員同士の積極的な意見交換 フィードバック中の利用者様の様子の観察 など イベントなどに実施により、より多角的な視点で考えることができる	担当する指導員が一人に固定化しないための取り組みとして、支援の見学、支援の交代などを引き続き進めていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者様の担当職員が固定化されがち	開所当時から担当制の方針で運営されており、その方針を変更するには時間がかかる	担当する指導員が一人に固定化しないための取り組みとして、支援の見学、支援の交代などを引き続き進めていく
2	外部の各機関との連携が弱い	日常の業務の多忙さから、外部へ意識を向ける余裕がなかった (特に管理者)	管理者も他の職員も、意識的に外部機関へ足を運ぶようになる
3	児童発達支援の利用者様の減少	外部機関、特に幼稚園、保育園、こども園や医療機関等への外部連携が疎かになっていた	管理者も他の職員も、意識的に外部機関へ足を運ぶようになる

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室「きらり」岡山高島校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 47名

回収数 32名

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	8	4	1	少し狭い 個別指導の時は気にならないけど、集団で何かイベントをする時には少し狭いと感じます。 体を動かしたり、イベントする際には、すこし手狭なようにも感じますが、工夫して活動されているところだと思います 体を動かした活動をするには少し狭いと思います 体を動かすスペースが、少ないと思います	特にイベントの時などは、必要に応じてパーティションの配置を変えるなどの工夫を行っていく。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	31	0	1	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	7	3	0	部屋をパーティションで区切っているだけで騒がしい 階段降りてすぐの所を駐車する車が通るので危ない	声の大きさなどは引き続き注意しながら支援を行っていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	5	1	0		
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31	1	0	0	子どもの特性の他に、その日の気分や気持ちにも寄り添って支援していただけています。 子供の特性について理解されていないと感じる場面が何度かありました。 丁寧に下ろして下さってありがたいです	利用者様の特性について、職員間でより細かく周知を行っていく。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31	1	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	31	1	0	0	こちらの意図も汲んだ上で、作成して下さいます。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	2	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32	0	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	8	14	4	必要を感じない 我が家は必要としてません	
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31	1	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31	1	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	5	3	5		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	32	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	2	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31	1	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	9	2	3	必要を感じない 保護者同士の交流の機会が設けられている	今後も保護者同士の交流の場を提供していく。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	2	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	6	0	5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	1	0	0	フィードバックをする際、付近に他の方がいらっしゃる状況で行なわれることがあります。フィードバック内容についても個人情報かと思いついで、個別に行ってくださいと思います。	フィードバックを行う場所について、より配慮していく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	3	2	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	3	0	9		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	2	1	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	4	0	7		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	31	1	0	0	担当の先生だけではなく、他の先生方との関わりも増えてきているのは、安心感が出てきている証なのだと思います。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26	6	0	0	きらりに通うことを楽しみにしています。(いざ行った後の気分は別として) すごく楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	31	1	0	0	内容により気分のぼらつきがある(イベントや工作など遊び系は好きだが、勉強系は苦手意識がある) 子どもが無理することなく、ペースに合わせて支援を行って下さって感謝しています。	利用者様の特性やその時の気持ちなどに配慮しながら、今後も丁寧に支援を行っていく。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
こどもサポート教室「きらり」岡山高島校		2025年 2月 15日			
	チェック項目	はい		工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	いいえ		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	1日あたり10名をキープするよう心掛けている。 療育机導入によりブースの数が増えた。 利用者さん1人に、1つ個別ブースがあるようにしている。 イベントなどで利用人数が増える際にはパーテーションなどを動かしてスペースの調整をしている。 パーテーションも有効に活用している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	経験年数や専門資格保有者を配置している。 常にある程度の余裕をもって営業できるようシフトを調整している。 シフト調整を工夫している。	1名退職により指導員の人数が減少
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	パーテーションを使って支援スペースを分かりやすく区切っている。 パーテーションで区切り、ブースを視覚的にわかりやすくしている。 階段の昇降については、介助が必要な利用者様にはスタッフが対応している。	階段、段差がある。 指示物など、もう少し視覚刺激を減らした方が良い
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	毎朝清掃を行っている。 イベント、運動など場面によってスペースを調整している。 クッションマットも必要に応じて使用している。	療育机導入によりブースが増えたが、狭くなった。共有スペースが広くないといい。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	ダンボールやパーテーションで仕切られている。 利用者さんの特性に応じて、支援の場所を考えている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	毎朝ミーティングが行われている。 朝礼で意思統一を行っている。	振り返りができていないことがある
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎年の年末頃に事業所評価アンケートを実施している。 意見をいただいた場合は、職員全体で話し合い、対応している。 フィードバックで意向を確認している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	職員用の事業所評価アンケートを実施している。 定期的に校舎内ミーティングが行われている。 定期的にミーティングを実施している。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	内部監査を実施している。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	本部やエリアが主催の内部研修、地域主催の外部研修等に参加している。 毎月、研修が開催されており、受講している。 研修は適宜行われている。	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	プログラムの公表は今後行っていく。 定期的に振り返りを行っている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	契約時と毎年1回、全利用者様を対象にアセスメントを行っている。 FBや事業所内相談で情報共有を行う。 スタッフで情報を共有しながら、アセスメントを行っている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	児発管と指導員で、計画の内容について話し合っで作成している。 情報共有する時間を設けている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	各職員で意識できている。 職員間で共有されている。 複数の指導員で支援を組み立てるようにしている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	標準化されたアセスメントツールを使用している。 新版K式の評価表の研修を受講している。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	計画で求められるねらいは共有している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	職員間でプログラム内容を話し合う環境が整っている。 月に1回イベントを開催している。 立案は個人で行っているが、課題や活動の共有を行っている。 スタッフ全員で行っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	毎回、プログラム内容を考えて作っている。 先輩指導員に助言をもらう。 飽きないよう、内容や提示の仕方をかえるように心がけている。 定期的に他校舎との交流を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	個別支援を中心に、不定期に集団活動やイベントなどを行っている。 月に1回イベントを実施し、集団での活動ができるようにしている。 集団活動も定期的に取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎朝の朝礼時に実施している。 朝礼で実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	翌日の朝礼時に振り返りを行っている。 毎朝、ミーティングを行い昨日の反省を行っている。 当日ではないが翌日に打ち合わせや振り返りをする朝礼で実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	支援後なるべく3営業日までに記録の記入を行っている。 記録はぬげがないよう、実施している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	最低6か月に1回行っている。 定期的にスタッフで振り返りを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	スタッフ間での得意なジャンルを共有している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	自分で選択する場を設けている。選択が難しい場合は、選択肢を挙げるなど、フォローしている。 絵カードや予定表を作成している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	担当している指導員や児発管が中心となって参画している。 基本的には、管理者兼児発管と担当指導員が参加している。 担当制を続けることで担当支援の調動ができるようにし、担当者会議や関係機関との会議に出席できるようにしている 予定を調整している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	必要に応じて関係機関との連携を行っている。 校舎間で連携し、体制を整えている。	もっと体制の整備を進める必要がある
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	3	必要に応じて情報共有を行っているが、頻繁ではない。 学校との連携を行っている。	学校との情報共有ができていない
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	特に就学前後の時期に、小学校へのスムーズな移行を目的として情報共有を行っている。 情報交換を積極的に行っている。	情報共有や相互理解を深める機会がない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	ZOOMなどを使用しながら、効率的に実施している。	アクセスジョブをはじめとする就労移行支援事業所等との連携が課題。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		児童発達支援センターとの連携、スーパーバイズや助言等を受ける機会の設定ができていない 今後の課題。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		今後の課題。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	参加できるよう努めている。 こども支援部会への参加を行っている。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	毎回の支援後にフィードバックを行い、情報共有を行っている。 支援後に、フィードバックの時間を設定している。支援内容や様子をお伝えし、保護者の方から家や園での様子などの聞き取りを行っている。 フィードバックの際に、しっかりと会話している。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	今年度から、保護者様も参加できる校舎内イベントを実施している。 支援見学を積極的に促している。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	契約時に実施している。 運営規程や利用者負担等に関しては、管理者兼児発管から、支援プログラムに関しては、担当指導員から説明を行っている。 丁寧に行っている。	職員全員が運営規程の理解を深め、説明できる必要がある
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	計画作成時に保護者様へ聞き取りを行っている。 フィードバック時に機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	計画作成時に説明を行っている。 フィードバック時に得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	支援後のフィードバックの他、必要に応じて事業所内相談を行っている。面談、情報提供を積極的に行っている必要に応じて、時間をとって面談を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	2	保護者様やご兄弟が参加できるイベントを実施している。定期的にイベントを企画している。	保護者やきょうだいが交流できる機会をもっと増やした方が良い
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	相談や申し入れがあった際に、職員間で情報共有を行い、対応している。運営委員会内で共有を行っている。迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	主にホームページやインスタグラムを活用している。LINEやブログを使用し発信している。事業所内の掲示やブログ、インスタグラム、LINEなどで発信している。HP、SNSを活用している。	情報発信の機会をもっと増やした方が良い
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報があるものには隠蔽をしている。留意している。鍵付き箱を使用している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	ミーティングでは、表現方法について考えている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	近くの公民館と合同で、地域住民も参加できるイベントを実施した。	地域住民との交流の機会をもっと増やした方が良い 今後の課題。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	毎月訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	月に1回の避難訓練を行っている。毎月、テーマをかえて、防災訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	アセスメント等で確認している。保護者との面談時に確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	食べ物を扱うイベントでは、特に注意している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2	研修、訓練を実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	お知らせを掲示している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	発生後に報告書を作成し、職員間で周知している。ヒヤリハットが起きた際には、記録を書いて回覧したり、口頭で説明したりして、共有を行い、再発防止策について検討している。朝礼で検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	内部研修を実施している。適切に対応できている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	記載している。		